

川口高校進路だより

ミ・チ・シ・ル・ベ 保護者版

川口高校進路指導部
第2号
令和4年5月26日

★3年生の保護者の皆さんへ

3学年進路説明会—4月29日実施



PTA 総会であった4月29日に3学年進路説明会を行いました。進路説明会の内容は、3年生が進路活動を行う上で、注意してほしいポイントを確認していただくとても大事なものです。生徒の皆さんは進路の手引きを持っていますので、自宅でお子様と一緒に確認して頂きたいと思います。内容について、わからない点がありましたら、進路指導部の上遠野までご連絡下さい。

学校説明会・オープンキャンパスの案内が続々と

2023年度入学生への学校説明会やオープンキャンパスの案内が毎日多数届くようになりました。来校型、対面型で行われるものも多くなってきましたが、地域によってはオンライン上で行われるものもあるようです。来校型・オンラインの並列実施という学校もあります。詳細は各学校のホームページにも掲載されていますので、お子さんとご確認いただきたいと思います。

★1、2年生の保護者の皆さんへ

～大学入試改革から2年が経過しました！～

高校教育改革について—大学入学者選抜改革は高大接続改革の1つ—

○なぜ、改革が行われるのか

簡単に言うてしまえば、急速な国際社会の変化と日本の少子高齢化が原因と言えます。国際社会は、グローバル化・多極化の進展、新興国・地域の勃興といった変動が生じていますし、少子高齢化による生産年齢人口の急減、労働生産性の低迷、産業構造や就業構造の転換、地方創生等の問題は深刻で早急な対応が求められています。このような先の見えない状況のなかで、自ら問題を発見し、他者と協力して解決していくための資質や能力を育む教育が必要であるという考えがベースとなり改革が実施されることになったのです。

新聞等では大学入試の改革が大きく取り上げられていますが、今回、国が進めている改革は、高校教育、大学教育、そしてそれをつなぐ大学入学者選抜（＝大学入試）の一体的な改革です。

○大学入学者選抜改革

今回は、3つの改革のうち大学入学者選抜改革について概要を説明したいと思います。

大学入学者選抜改革では、これまで以上に多面的・総合的に能力を評価する入試への転換が掲げられました。その一環として現在のセンター試験を廃止し、令和2年度から思考力・判断力・表現力を一層重視する「大学入学共通テスト」が導入されました。また、各大学の個別選抜でも、より多面的な選抜方法にすることが求められています。一般入試においてはすでに面接を導入したり、志願者自らが作成した志望理由書等を提出させる大学が増えています。また、総合型選抜（旧 A0 入試）・学校推薦型選抜（旧 推薦入試）では、国立大を中心に新たに導入、募集人員を拡大するといった動きがあります。さらに令和2年度に実施される入試からは、総合型選抜・学校推薦型選抜でも小論文、プレゼンテーションや大学入学共通テストなどを通じて、学力を問う試験に転換する学校が多くなりました。どの方法で大学を受験するにしても、しっかりとした学力を身につけておく必要があります。